



SMAM

マーケット・ウィークリー (No.312) 【2014年5月26日～5月30日】

<マーケットレポート No.3,615>

情報提供資料

2014年6月2日

1. 先週の市場動向

	先々週末	先週末	
	2014/5/23	2014/5/30	前週比
<株式>			
NYダウ(米国)	16,606.27	16,717.17	0.67%
日経平均株価(日本)	14,462.17	14,632.38	1.18%
DAX指数(ドイツ)	9,768.01	9,943.27	1.79%
FTSE指数(英国)	6,815.75	6,844.51	0.42%
上海総合指数(中国)	2,034.57	2,039.21	0.23%
香港ハンセン指数(中国)	22,965.86	23,081.65	0.50%
ASX指数(豪州)	5,492.79	5,492.55	▲0.00%
<リート>			
S&Pグローバルリート指数	169.41	170.79	0.81%
<債券>(利回り)(%)			
米国10年国債	2.532	2.476	▲0.056
日本10年国債	0.592	0.578	▲0.014
ドイツ10年国債	1.413	1.358	▲0.055
英国10年国債	2.635	2.570	▲0.065
<為替>			
ドル円	101.97	101.77	▲0.20%
ユーロ円	138.97	138.74	▲0.17%
ユーロドル	1.3629	1.3635	0.04%
豪ドル円	94.12	94.75	0.67%
<商品>			
商品(CRB指数)	308.26	305.48	▲0.90%
原油先物価格(WTI)	104.35	102.71	▲1.57%

【先週の市場の振り返り】

<株式>

米国株は、上昇しました。週前半はウクライナにおいて、親EU派ながらロシアとの関係正常化にも前向きな新大統領が選出されたため、地政学リスクが後退との見方から株価は上昇しました。その後、米1-3月期GDPがマイナス成長へと下方修正されたものの、むしろ内需の堅調さを示す内容だったほか、新規失業保険申請件数の減少傾向などが好感され、週後半も上昇幅を拡大させました。

日本株は、上昇しました。週前半からウクライナ大統領選の結果やドル安円高が一服したことを受けて安心感が広がり、大きく上昇しました。週後半は、月末と重なったこともあり、利益確定の売りなどから上値が抑えられました。

<債券>

米国債は、債券価格が上昇しました(利回りは低下)。ドイツの5月失業者数が予想外に増加したことなどから、ECBの追加緩和観測が強まり、米国債の債券価格も上昇(利回りは低下)しました。

ドイツ国債は、債券価格が上昇しました(利回りは低下)。週前半からECBの追加緩和観測は根強かったことに加え、週半ばにドイツの5月失業者数が予想外に増加すると、債券価格は上昇しました(利回りは低下)。

<為替>

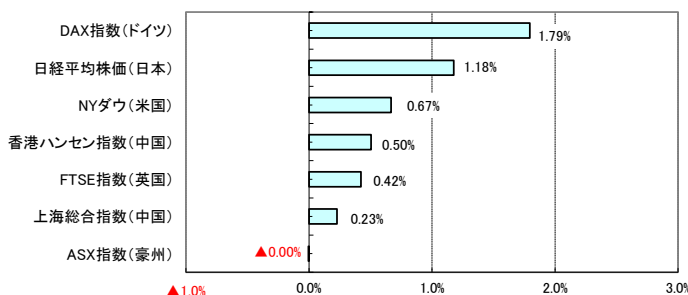
ドル円は、ドルが小幅に下落しました。米国債の利回り低下などがドル安要因となりました。

ユーロ円は、ユーロが小幅に下落しました。週前半は、ECBの追加緩和観測の一方、ウクライナ情勢への懸念後退などもあり、ユーロは対円ではほぼ一進一退でした。しかし、週半ばにドイツの5月失業者数が予想外に増加すると、ユーロ安円高となりました。

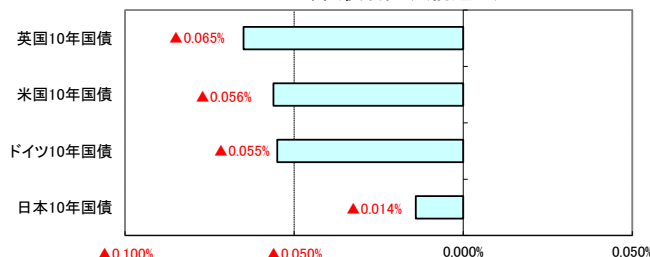
<商品>

原油価格は、下落しました。このところ、米国内の在庫減少が価格上昇要因となっていました、週後半には4月の米個人消費支出が1年ぶりに前月比マイナスとなったことなどから、下落しました。

株式(前週比)

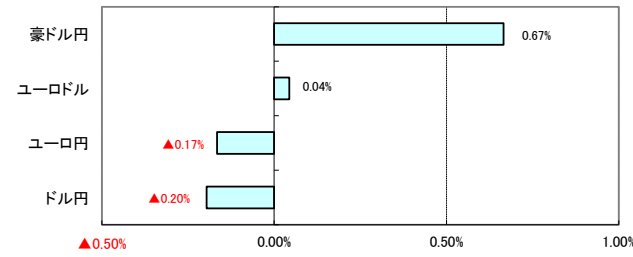


10年国債利回り(前週差)



※利回りの低下は債券価格の上昇を表します。

為替(前週比)



※ユーロドルのプラス表示はユーロ高・ドル安。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社

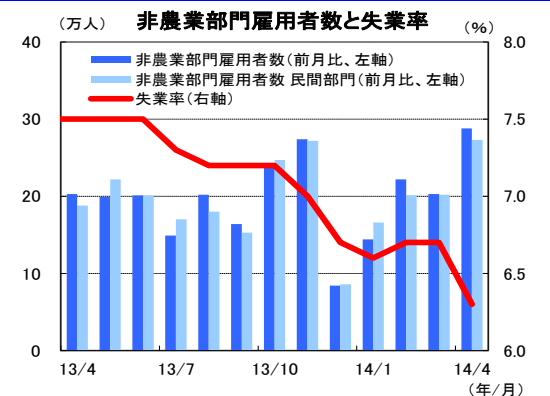
2. 先週のマーケット・デیلیー/ウィークリー

	テーマ	ポイント
5/26 (月)	先週のマーケットの振り返り	5/19～5/23のマーケットの振り返り
5/27 (火)	最近の指標から見るメキシコ経済(5月)	・低金利、財政支出、米国景気の流れ直しなどが下支えとなり、メキシコの経済成長率は緩やかな上昇が見込まれます。 ・メキシコ銀行(中央銀行、以下中銀)は消費者物価指数が年末には前年同月比+4%を下回り、2015年は同+3%を若干上回る水準に落ち着くと予想しています。中銀は、史上最低の政策金利を当面維持し景気を支える方針です。 ・政府は石油開発の政策見直しなど経済構造改革に積極的に取り組んでいます。メキシコペソは、当面の景気の流れ直し期待に加え、改革による中長期的な成長率の上昇期待などから、米ドルや円などに対し底堅く推移しそうです。
☆		
5/28 (水)	最近の指標から見る米国経済(5月)	・4月の非農業部門雇用者数は前月比+28.8万人、失業率は6.3%と、ともに前月から改善しました。 ・4月のISM景況感指数は、製造業、非製造業ともに新規受注指数が上昇し、今後の堅調さを示しました。 ・1-3月の実質GDP成長率は、個人消費が下支えしたものの住宅投資などが下振れし、減速しました。 ⇒ 米国経済は寒波の影響を脱して景気の復調が鮮明となっており、QEの縮小は今秋にも終了し、雇用の質改善や物価上昇が徐々に進めば、2015年後半以降の利上げが見込まれます。
5/29 (木)	ブラジルの金融政策(5月)	・ブラジル中央銀行(以下、中銀)は28日、政策金利を11.00%に据え置くことを発表しました。 ・中銀は、景気回復の緩慢さと物価上昇率の高止まりの両方を見据え、政策金利を当面現行水準で据え置く可能性が高いと思われます。 ・高い金利水準に加え、米国など海外景気や国内景気の回復期待は、レアルの支援材料になりそうです。
☆		
5/30 (金)	ASEAN4のGDP成長率(1-3月期)	・マレーシアは輸出の回復で成長が加速し、インドネシアは輸出規制の影響などから成長が減速しました。 ・フィリピンは在庫の取り崩しなどで成長が減速し、タイは政情不安によりマイナス成長となりました。 ・1-3月期のGDP成長率は、各国の事情により好不調が分かれました。2014年のASEAN4の成長率は、政情不安が続くタイ以外の3か国では底堅い内需と輸出の回復により概ね前年並みとなる見込みです。

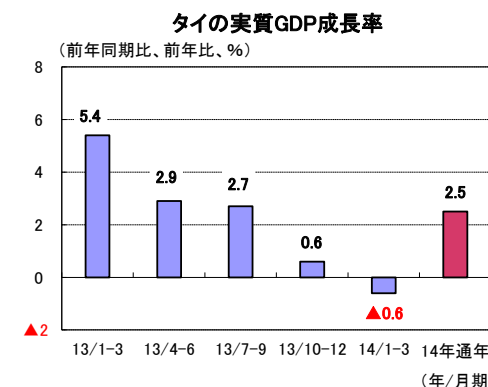
☆ は右の「グラフ・図表」参照

☆先週の市場動向に関連する代表的な「グラフ・図表」

☆5/28【最近の指標から見る米国経済(2014年5月)】



☆5/30【ASEAN4のGDP成長率(2014年1-3月期)】



当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



SMAM

マーケット・ウィークリー(No.312) 【2014年5月26日～5月30日】

<マーケットレポート No.3,615>

情報提供資料

2014年6月2日

3. 今週の主な注目材料

日付	米国	日本	欧州	アジア・オセアニア・その他
6/2 (月)	4月建設支出 5月ISM製造業景況感指数 ☆	5月自動車販売台数 1-3月期法人企業統計調査		インドネシア5月消費者物価指数 タイ5月消費者物価指数 ブラジル5月貿易統計
6/3 (火)	5月自動車販売台数(4日までに発表予定)	4月毎月勤労統計 ☆	ユーロ圏4月失業率 ユーロ圏5月消費者物価指数(速報)	インド金融政策決定会合 豪州4月小売売上高 豪州金融政策決定会合 ☆ トルコ5月消費者物価指数
6/4 (水)	4月貿易統計 5月ISM非製造業景況感指数 5月ADP雇用統計			豪州1-3月期GDP ブラジル4月鉱工業生産指数
6/5 (木)			ユーロ圏4月小売売上高 欧州中銀(ECB)理事会 ☆ ドイツ4月製造業受注 英中銀(BOE)金融政策委員会	豪州4月貿易統計 フィリピン5月消費者物価指数
6/6 (金)	5月雇用統計 ☆	4月景気動向指数	ドイツ4月貿易統計 ドイツ4月鉱工業生産指数	ブラジル5月消費者物価指数 メキシコ金融政策決定会合
☆ 今週の注目点	1-3月期のGDP成長率(改訂値)はマイナス成長となりましたが、4-6月期以降は持ち直すと見込まれています。ISM指数や雇用統計などの重要な経済指標が注目されます。	日本は春闘による賃上げ合意、消費税増税などのイベント直後であり、賃金動向を確認できる毎月勤労統計が注目されそうです。	ドラギECB総裁は6月の理事会で追加緩和を行う可能性を示唆しています。緩和策を見込んだユーロ安や金利低下傾向もすでに見られており、実際の理事会の決定内容が注目されます。	豪州では、足元の成長は住宅市場や資源輸出の回復による緩やかなものとなっています。1-3月期のGDP成長率に注目です。

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

先週の注目の「マーケット・デیلیー」

2014年05月28日【デیلیー No.1,875】最近の指標から見る米国経済(2014年5月)

2014年05月30日【デیلیー No.1,877】ASEAN4のGDP成長率(2014年1-3月期)

先週の「マーケット・ウィークリー」

2014年05月26日【ウィークリー No.311】先週のマーケットの振り返り(2014/5/19-5/23)

先月の「マーケット・マンスリー」

2014年05月01日【マンスリー No.68】先月のマーケットの振り返り(2014年4月)

先週の注目の「マーケット・キーワード」

2014年05月28日【キーワード No.1,337】再び新興国へ向かう「世界の投信マネー」(グローバル)

弊社マーケットレポート

検索!!

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社



SMAM

マーケット・ウィークリー(No.312) 【2014年5月26日～5月30日】

<マーケットレポート No.3,615>

情報提供資料

2014年6月2日

【重要な注意事項】

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

◆直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.78%（税込）

・・・換金（解約）手数料 上限1.08%（税込）

・・・信託財産留保額 上限3.50%

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限年 2.052%（税込）

◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託（基準日現在において有価証券届出書を提出済みの未設定の投資信託を含みます。）における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

●投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

●投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

[2014年4月1日現在]

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。



三井住友アセットマネジメント株式会社